

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2014年 2月 発行

いよいよ今月の7日～9日に『はもりあフェスタ』が開催されます。

今年度、男女共同参画センターでは、NPO、地域団体等と協働して、防災をキーワードに地域での男女共同参画を進める取り組みをしてきました。東日本大震災等の経験から、日ごろの防災活動から女性が参画することの大切さを学び、地域の中ではこれまでの防災活動を見直すきっかけにもなりました。はもりあフェスタの最終日に行われるエンディング講演会「防災とまちづくり、そして男女共同参画」は、これまでの取り組みのまとめであり、これから市内全域へ広げていくスタートでもあると思っています。多くの市民の皆様のご参加をお待ちしています。

「私と政治と男女共同参画」

～平成25年度 男女共同参画人材リスト登録者および はもりあ四日市登録グループ合同研修会～報告



研修会の様子

1月18日(土)に行われた研修会では全国でも数少ない女性市長である、鈴鹿市の末松則子市長をお招きし、「私と政治と男女共同参画」をテーマにご講演いただき、グループワークでも全てのグループと交流をしていただきました。

【なぜ、政治の世界に入ろうと思ったのか？】

最初に、政治家になろうと思ったきっかけについて伺いました。当初、政治家になることは考えていなかったそうです。しかし、政治家だったお父様が病気で亡くなられた後に、誰かが動かなければ身の回りにある問題の解決や公共サービス向上が図られないと感じて自分がやろうと一大決心し、周囲の方の力も借りながら政治の世界に進まれたそうです。

【審議会に臨むときに心がけていること】

平成24年5月から内閣府男女共同参画会議監視専門調査会の専門委員として、国の会議に出席されています。著名な学者や専門家の委員がたくさんいる中で、現場の声を届けることが自分の役割だと認識し、審議会に参加するときには、「事前にしっかりと勉強すること」、「事前に市民や職員の声をしっかりと聞き取ること」、そして「それらの声を届けるために出来るだけ発言をすること」を心掛けているということでした。

【女性の登用について】

市長に就任されたとき、鈴鹿市役所には、次長・参事級も女性職員が1人もおらず、もちろん、行政経営会議()には男性職員だけだったそうです。就任された翌年から次長・参事級に女性職員を登用し、市の行政経営会議に女性が参画出来るようにしたところ、女性の視点をもった多様な意見が会議の中に反映されるようになったそうです。

このように女性が参画していくことで、いろいろな変化が起きるのだと改めて感じました。四日市市でも、行政はもちろんのこと、企業や地域など様々な場で今後さらに女性が活躍していけるよう、はもりあ四日市もしっかり取り組んでいきたいと思えます。



参加者と交流を行う
末松則子市長

行政経営会議とは...「市政の最高方針等とその推進に関する重要な施策を審議する会議で、構成員は市長・副市長・教育長・水道事業管理者・消防長・防災危機管理監・部長・市長が特に必要と認められた者として参事級女性職員・企画課長です。」

報告

女性のためのフキ起業入門講座 ～営業編～



「夢をカタキにするための、フキ起業への第一歩」

- ♥ 夢を実現させたい 「起業準備中」「起業しているがもっと拡大したい」「起業か就業か悩んでいる」「起業に興味がある」「子育てを終え何年か先に起業をしたいその時のために」という思いをもって参加した80人の女性たち。講師にグッドライフ設計塾代表 菅田芳恵さんを迎え、経営に必要な知識や考え方の第一歩として、「自分ブランドの確立」と「名前を売り出す営業テクニック」などを学びました。
- ♥ グループワーク 「10年後の自分は何をしているか」をグループ内の人たちに話す。言葉にして人に話すことによって、そうなるように頑張る、そしてより現実的になるとのこと。参加者たちは、明るくいきいきと楽しそうに話し合いをしていました。
- ♥ 講師の菅田さんの言葉 「今日始めなければ、いつまでも始まらない」「あきらめない」など、内容が具体的で“今すぐやらなきゃ”“自分にも出来そう!”という気持ちになるお話でした。



【菅田先生のテンポよいお話】



【グループワーク(10年後の自分は何を・・・)】

- ♥ アンケートから 「具体的に何をすれば良いか経験を交えて教えてもらって楽しかった」「起業に必要なノウハウが具体的で分かりやすかった」「今、ぼやっとしていたものが現実に近づいた」など受講者が前向きになれるお話でした。

受講者
募集中

女子のハートをがっちりつかむ!

春休みさんかくカレッジ

おしゃれな春のお花見弁当作り

簡単・おしゃれなお花見弁当を作ります。

～その前に、ちょこっとさんかく教室(デートDVのお話し)を、ちょこっとします～

日時: 3月29日(土) 10:00～13:00

場所: 本町プラザ3F調理室

講師: 吉武奈穂子さん

定員: 12人(応募多数の場合は抽選)

費用: 500円 持ち物: エプロン・三角巾・ふきん

託児: 有り(6カ月から小学3年生程度)無料、要申込

申込: 電話・ファクス・Eメールにて、講座名・名前(ふりがな)

年齢・連絡先の住所・電話番号を、託児が必要な場合は預ける

子の名前(ふりがな)と年齢を、はもりあ四日市へ。

3月11日(火)必着



彼女がいる人も
いない人も

市内の中学生以上の 男子あ・つ・ま・れ!!

相談室 から

男性の相談員による

男性のための電話相談

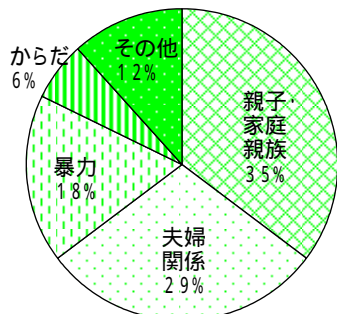


7月から月1回実施してきました、男性のための電話相談の報告です。

担当相談員の声

当初の予想よりも多くの相談をいただきました。ご自身、配偶者、子どものこと...、どの相談も切実で、困っているお気持ちが、電話の向こうから、ひしひしと伝わってきました。「電話」というツールは、お顔が直接見えないことで、メリットもデメリットもあります。息づかいを通して生の声が聴こえてくる一方、細かなニュアンスを汲み取りづらいときもあります。相談を受ける者として、話しやすい空気をつくり、限られた時間の中で、真摯に向き合うように努めてきました。

男性のための電話相談は、全国的にもまだまだ十分普及していません。電話をかけてこられた方が、電話を切る際に、一筋の光が灯るような気持ちになっただけことを念頭に置き、一緒に考え、少しでもお役に立てたなら、とても嬉しく思います。



ひとりで抱え込まず、まずはご相談ください。

男性からの悩みの相談を、男性の相談員がお聴きます。(ひとり30分程度)
相談内容は、自分の性格や生き方、夫婦関係、子どものこと、性・セクシャリティなど何でもかまいません。
匿名でOKです。プライバシーは厳守します。
相談は無料です。



《相談日》
毎月第2土曜日
《時間》
12:00~15:00
《専用電話》
059 354 1070

今月の数字

30%

この数字は内閣府に設置された男女共同参画推進本部で平成15年6月に決定した数字です。

2020年までに、社会のあらゆる分野において、指導的地位に女性が占める割合を少なくとも

30%程度にするというもので、「202030(にいまるにいまるさんまる)」と言います。

現在、国・都道府県等の審議会委員への女性委員登用は、すでに30%を達成するなど女性の進出が進んできています。本市でも審議会の女性委員登用率は32.2%ですが、その内訳を見ると、一人も女性がいない審議会もまだ存在しています。この他にも市議会議員や自治会長等は、まだ女性が10%未満であり、意思決定の場への女性の参画はまだ低い状況にあります。

たとえ、少数派であっても構成割合の30%を占めると意思決定に影響を持つといわれています。(カンター理論)

「202030」が達成できれば、男女が共に生きやすい社会に近づくのではないかと考えます。

まずは、自治会やPTAなどの地域団体等、私たちの身近なところから見直していきましょう。

男女
共同

さんかくeye

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点★を通してね。

久しぶりに、私(40歳男性)の子育て奮闘記を綴っていきたく思います。

1月でR君とK君は1歳半になりました。男の子は病気になりやすいと聞いていた割には、これまで重い病気にかかることもなく、元気に育ってきましたが、12月にK君が急性胃腸炎にかかってしまいました。そしてあっという間に家族全員とヘルプに来ていた義母までうつり、いつも元気な子どもたちもぐったりで、不安もあってか回復するまでべったり状態でした。しかもR君がけいれんを起こし、救急車で病院へ運ばれる事態も起こり、親としても初めての体験でした。

今回私は看護のために仕事を4日間休みましたが、これは理解のある職場だったから休めたと思います。子どもが病気になったからといって、お父さんお母さんが急に長期間仕事を休める社会になっていませんし、病児保育施設なども十分ではありません。子育て支援やワーク・ライフ・バランスの推進の必要性を実感した出来事でした。ちなみにR君は胃腸炎時にまれに起きるけいれんで問題ありませんでした。【担当: Y】

登録グループイベント情報

- 「筋力の低下」気になっている方、一緒に始めませんか？
- 3月 4日(火) ピバトレニング(貯筋体操) **脳の活性化**
- 3月 13日(木) 坐っトレニング **転倒防止** **活動的に過ごす**
- 3月 18日(火) 貯筋体操
- 時 10時～12時 所 本町プラザ3階「はもりあ四日市」こどものへや
- 費 自由参加無料 問 まんなか 金森まで(090-6805-5143)



～生活支援サポーター養成講座～

- 2月 27日(木) 地域で少子高齢化が進む中、地域の子どもを取り巻く環境を整え、共助を必要とする高齢者が安心して暮らせるよう、私たちが今できることを考えてみませんか？



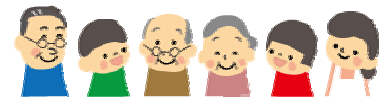
- ボランティアの基礎講座 時 13時30分～15時 所 総合会館 4階会議室
- 費 無料 テーマ はじめてのボランティア説明会“みんなでしよにボランティア”
- 申問 健康サポートあさひっこ 草川まで Tel090-8863-6286 Fax351-7651

登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループを紹介します。

今回は

市立四日市病院ボランティアふれあいグループ



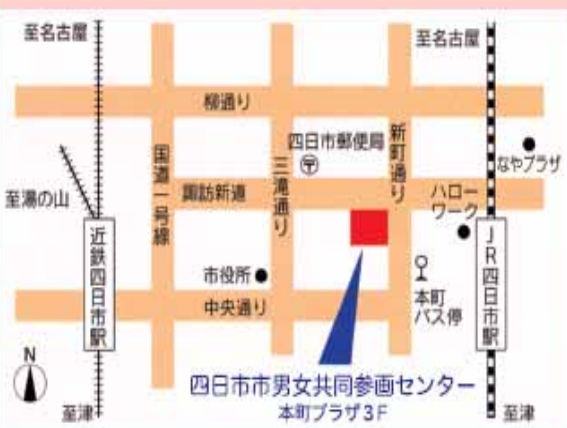
さんです。代表 飯田 淳子
連絡先 059-352-2611

市立四日市病院に行った時にオレンジエプロンをみかけたことはありませんか？“いつもさわやかな笑顔でさっそうと”をモットーに活動している、私たち“市立四日市病院ボランティアふれあいグループ”です。平成9年4月1日に設立し、現在31名で活動しています。主な活動は、来院者に院内の説明・案内 訓練の必要な患者さんのリハビリセンターへの送迎 入院患者さんに図書の貸し出し 玄関周辺の季節の花の管理 週1回気分転換に歌など、を行っています。患者さんから「重い気持ちで玄関を入るが入り口で“おはようございます”と声をかけられると一度に気分が軽くなる」「とてもありがたいと歡心している」など喜んでいただいています。

市立四日市病院は地域に開かれた病院を目指しています。私たちもこの目標に向かって日々活動をしています。

あとがき

こんにちは、はもりあ四日市の清水です。まだまだ、寒い日が続いていますね。早く暖かくなって欲しいな～と、通勤時に考えたりしていますが、春の訪れは、もう少し先になりそうですね。寒さに負けないよう、元気に自転車で通勤しようと思います。皆さんも寒さに負けないよう、お過ごし下さい！



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml